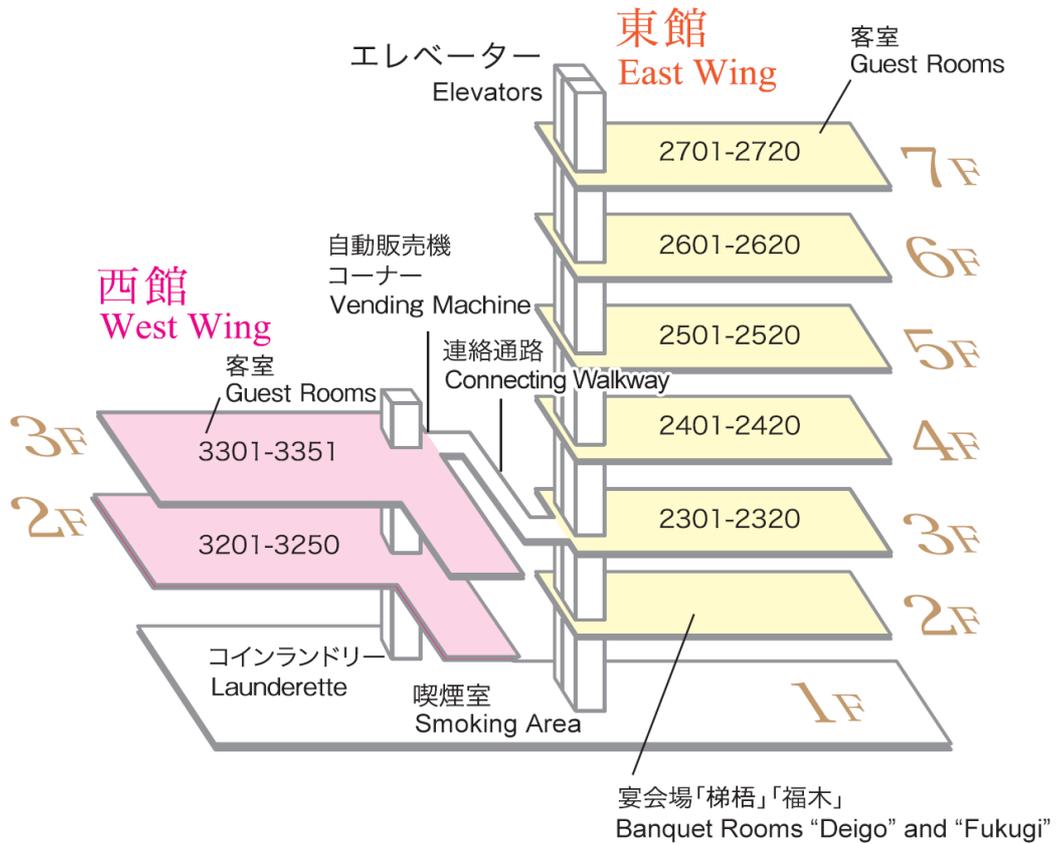


参加者へのご案内

1. 受付：南の美ら花ホテルミヤヒラ 2F 梯梧の間 入口にて、受付を行います。受付開始時刻は 8:00 です。
2. 参加費・懇親会費：シンポジウムの当日に、受付にてお納めください。
シンポジウム参加費： 一般会員 4,000 円
非会員 6,000 円
学生会員 2,000 円
懇親会費：一般会員・非会員ともに 5,000 円
3. 懇親会：10月20日（金）の講演終了後に、「南の美ら花ホテルミヤヒラ 2F 梯梧の間」にて行います。
4. 発表用 PC：発表用の PC の OS は Windows 7, PowerPoint のバージョンは 2010 です。
5. 一般演題の発表時間：一般演題の発表時間は 15 分です。
発表 12 分、質疑 3 分といたします。
6. 交通のご案内：
(p.2-3 もご覧ください see details of public transportation on p.2-3)
会場：南の美ら花ホテルミヤヒラ 2F 梯梧の間
住所：〒907-0012 沖縄県石垣市美崎町 4-9
電話：0980-82-6111
URL: <http://www.miyahira.co.jp/>
バスターミナルより徒歩 1 分、石垣空港から車で約 25 分
(タクシー利用約 2,700 円)



Venue 会場・

Banquet 懇親会会場「梯梧の間」

運営委員会会場「福木の間」

第51回 ビブリオシンポジウム プログラム
Program of The 51th Symposium on Vibrios

10月20日(金) 20 October 2017 (Fri)

8:55~9:00 開会の挨拶 阪大微研 飯田哲也

【特別講演：腸炎ビブリオシンポジウムを超えて】

9:00~9:45 座長：山崎伸二（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科）

9:00~9:30

1. ポストゲノムの腸炎ビブリオ研究

○児玉年央¹⁾

¹⁾ 大阪大学微生物病研究所 細菌感染分野

9:30~9:45

2. Microbial Genome Taxonomy の光と影：ビブリオ科細菌の分類を事例に

○澤辺智雄¹⁾，田仲真美¹⁾，美野さやか¹⁾

¹⁾ 北海道大学大学院水産科学研究院 海洋微生物学

【一般演題：Travel Award 受賞者演題】

9:45~10:30 座長：島本 整（広島大学大学院生物圏科学研究科 食品衛生学）

3. Functional characterization of two T3SS2-related proteins, VgpA and VgpB, of *Vibrio parahaemolyticus*

○Sarunporn Tandhavanant^{1,2)}，Shigeaki Matsuda²⁾，Hirotaka Hiyoshi^{2,3)}，Tetsuya Iida²⁾，Toshio Kodama²⁾

¹⁾ Graduate School of Medicine, Osaka University, ²⁾ Department of Bacterial Infections, Research Institute of Microbial Diseases, Osaka University, ³⁾ Department of Medical Microbiology and Immunology, School of Medicine, University of California

4. 多次元蛍光プロファイルを用いた微生物の新たな迅速分析技術

○川村優樹¹⁾，渡辺宏紀¹⁾，清川達則¹⁾，野村暢彦²⁾，八幡 穰²⁾

¹⁾ 筑波大大学院生命環境科学研究科，²⁾ 筑波大生命環境系

5. ナマコ消化管微生物叢の形成過程の理解とビブリオの種多様性への影響

○山崎耀平¹⁾，酒井勇一²⁾，下野 学³⁾，美野さやか¹⁾，澤辺智雄¹⁾

¹⁾ 北海道大学大学院水産科学研究院 海洋微生物学，²⁾ 函館水産試験場，³⁾ 渡島地区水産技術普及指導所

10:30~10:40 休憩

【一般演題】

10:40~11:40 座長：児玉年央（阪大微研）

6. ビブリオ属細菌が VBNC 状態に移行する条件の検討
島本 敏¹⁾, 岡田佳奈¹⁾, 成谷宏文¹⁾, ○島本 整¹⁾
¹⁾ 広島大学大学院生物圏科学研究科 食品衛生学
7. *Vibrio cholerae* の保有する可動性伝達因子 SXT element の解析
○森田大地¹⁾, 大西 真²⁾, 森田昌知²⁾, 水野 環³⁾, 今村大輔⁴⁾, 三好伸一³⁾, 篠田純男¹⁾, Asish K. Mukhopadhyay⁵⁾, 高橋栄造¹⁾, 岡本敬の介¹⁾
¹⁾ 岡山大学 インド感染症共同研究センター, ²⁾ 国立感染症研究所細菌第一部, ³⁾ 岡山大学大学院医歯薬総合研究科 衛生微生物化学講座, ⁴⁾ 法政大学 生命科学部 生命機能学科 微生物細胞機構学教室, ⁵⁾ National Institute of Cholera and Enteric Diseases, Kolkata, India
8. Comparative genomic analysis of CTX phage regions of *Vibrio cholerae* pathogenic strains isolated in wave 1 period of the 7th cholera pandemic
Tho Duc Pham^{1,2)}, Tuan Hai Nguyen^{1,2)}, Hanako Iwashita³⁾, Taichiro Takemura^{1,2)}, Kouichi Morita²⁾, ○Tetsu Yamashiro³⁾
¹⁾ Leading program, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University, ²⁾ Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, ³⁾ Department of Bacteriology, University of the Ryukyus
9. 2007-2010 年コレラ流行時におけるベトナム分離コレラ菌株の全ゲノム解析
○竹村太地郎¹⁾, 丸山史人²⁾, 大田 篤²⁾, 村瀬一典^{2,3)}, Dong Tu Nguyen⁴⁾, Cuong Ngo Tuan⁴⁾, Binh Minh Nguyen⁴⁾, 森田昌知⁵⁾, 滝沢木綿⁵⁾, 大西 真⁵⁾, 山城 哲⁶⁾
¹⁾ 長崎大学熱帯医学研究所ベトナム拠点, ²⁾ 京都大学大学院医学研究科微生物感染症学講座, ³⁾ 宮崎大学大学院医学研究科寄生虫学講座, ⁴⁾ ベトナム国立衛生疫学研究所細菌部国立感染症研究所細菌第 1 部, ⁵⁾ 国立感染症研究所細菌第 1 部, 宮崎大学大学院医学研究科寄生虫学講座, ⁶⁾ 琉球大学大学院医学研究科細菌学講座

11:40~13:00 昼休み

11:45~12:45 ビブリオシンポジウム運営委員会 (運営委員のみ参加, 福木の間)

【特別セッション：八重山のサンゴ礁生態系】

13:00~13:30 座長：山本啓之 (JAMSTEC)

10. 石西礁湖のサンゴ群集と大規模白化現象

○中村 崇^{1,2)}, 小島香菜³⁾, 池内絵里³⁾, 石持みずき³⁾, 児玉悠仁¹⁾

¹⁾ 琉球大学 理学部, ²⁾ 琉球大学 熱帯生物圏研究センター, ³⁾ 琉球大学 理工学研究科

13:30~14:00 座長：美野さやか (北大院水)

11. Effect of Heat Stress on Coral-Associated Bacteria

Jia-Ho Shiu ¹⁾, Sonny T.M. Lee ²⁾, Keshavmurthy Shashank ¹⁾, Simon K. Davy ³⁾, Paul S. Kench ⁴⁾, Chaolun A. Chen ¹⁾, Tung-Yung Fan ⁵⁾, Pei-Wen Chiang ¹⁾, Hsing-Ju Chen ¹⁾, Shueh-Ping Lou ¹⁾, Ching-Hung Tseng ¹⁾, HERNYI Justin Hsieh ⁶⁾, ○Sen-Lin Tang ¹⁾

¹⁾ Biodiversity Research Center, Academia Sinica, Taipei 115, Taiwan, ²⁾ Department of Medicine, The University of Chicago, Chicago, IL, United States, ³⁾ School of Biological Sciences, Victoria University of Wellington, Wellington 6140, New Zealand, ⁴⁾ School of Environment, The University of Auckland, Auckland 1142, New Zealand, ⁵⁾ Science Education Department and Industry Academia Collaboration Center, National Museum of Marine Biology and Aquarium, Pingtung 944, Taiwan, ⁶⁾ Penghu Marine Biology Research Center, Fishery Research Institute, Council of Agriculture, Penghu 880, Taiwan

14:00～14:45 座長：飯田哲也（阪大微研）

14:00～14:30

12. 熱水活動域の生態系を比べてみると、

○山本啓之 ¹⁾

¹⁾ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)

14:30～14:45

13. 沖縄近海の熱水域におけるコスモポリタン微生物の地理的分布様式

○美野さやか ¹⁾

¹⁾ 北海道大学大学院水産科学研究院 海洋微生物学

14:45～14:55 休憩

【特別セッション：八重山地方の食品衛生と食文化】

14:55～15:55 座長：勢戸和子（大阪健康安全基盤研究所）・澤辺智雄（北大院水）

14. 八重山地方の食品衛生

○中村伸彦 ^{1,2)}

¹⁾ 宮平観光株式会社 南の美ら花ホテルミヤヒラ 料理部部長

²⁾ 一般社団法人 沖縄県食品衛生協会 八重山支部 理事

15. 八重山地方の食文化

○赤山丈人 ¹⁾

¹⁾ 一般社団法人 沖縄県食品衛生協会 八重山支部 支部長

15:55～16:05 休憩

【一般演題】

16:05～16:50 座長：荒川英二（感染研 細菌第一部）

16. Analysis of type three secretion system in *Vibrio cholerae*
Sharda Prasad Awasthi¹⁾, Nityananda Chowdhury¹⁾, Atsushi Hinenoya¹⁾,
Hemanta Koley²⁾, T. Ramamurthy³⁾, ○Shinji Yamasaki¹⁾

¹⁾ Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University, ²⁾ National Institute of Cholera and Enteric Diseases, Kolkata, India,

³⁾ Translational Health Science and Technology Institute, Haryana, India

17. 軸を持ったビブリオ菌極べん毛モーター部位の低温電子断層撮影法による構造解析

Shiwei Zhu^{1,2)}, 錦野達郎¹⁾, Bo Hu²⁾, 小嶋誠司¹⁾, Jun Liu²⁾, ○本間道夫¹⁾

¹⁾ 名古屋大大学院理学研究科 生命理学, ²⁾ テキサス大学ヒューストン校・McGovern 医科大

18. ビブリオ属菌における外因性シデロフォア受容体遺伝子の発現調節に関わる転写因子の解析

○田邊知孝¹⁾, 宮本勝城²⁾, 辻坊 裕²⁾, 山本重雄¹⁾, 舟橋達也¹⁾

¹⁾ 松山大大学薬学部 衛生化学, ²⁾ 大阪薬科大学 微生物学

16:50~17:50 座長：中口義次（石川県大）

19. *V. alginolyticus* における翻訳停止依存的な膜透過促進因子の発現制御機構

○石井英治¹⁾, 坂下宗平¹⁾, 秋山芳展¹⁾, 森 博幸¹⁾

¹⁾ 京都大学ウイルス・再生医科学研究所

20. 海藻 (*Sargassum fusiforme*) に含有される臭素化ビフェノール (6-OH-BDE47) の抗菌作用

○藤井由希子¹⁾, 小川和加野²⁾, 松原 大²⁾, 原口浩一¹⁾

¹⁾ 第一薬科大学 分析科学分野, ²⁾ 第一薬科大 免疫薬品学分野

21. 肺炎桿菌を用いた多剤耐性菌の分離および新規抗菌薬の探索

○小川和加野^{1,2)}, 岡村真弥²⁾, 森田大地²⁾, 黒田照夫^{2,3)}, 松原 大¹⁾

¹⁾ 第一薬科大学 免疫薬品学分野, ²⁾ 岡山大学大学院医歯薬総合研究科,

³⁾ 広島大学大学院医歯薬保健学研究科

22. Robotics と AI を用いたビブリオ生態の研究技術

○八幡 穰¹⁾

¹⁾ 筑波大生命環境系

17:50~18:00 事務局からの報告

18:00~ 閉会の挨拶 北海道大学大学院水産科学研究院 澤辺智雄

18:00~ 懇親会（ホテルミヤヒラ 梯梧の間）

ビブリオシンポジウム規約

(目的)

第1条 本シンポジウムはビブリオ属細菌について、生理、遺伝、ゲノム、病原性、生態、分類、応用等多方面から議論を行い学術の発展に貢献するとともに、腸炎ビブリオを中心に病原性ビブリオに関する諸問題について研究調査・討議を行い、もって、保健医療特にこれらの細菌による食中毒発生の阻止を図ることを目的とする。

(名称および事務局)

第2条 本シンポジウムはビブリオシンポジウムと称し、事務局を大阪大学微生物病研究所・細菌感染分野(住所:〒565-0871 吹田市山田丘 3-1、Tel. 06-6879-4259、Fax. 06-6879-4258)におく。英語名称はSymposium on vibriosとする。

(事業)

第3条 本シンポジウムは目的達成のため、次の事業を行う。

1. ビブリオに関する研究・調査の成果の発表及び情報交換のため年一回「ビブリオシンポジウム」を開催する。なお「ビブリオシンポジウム」開催に関しては毎回世話人を定める。
2. 腸炎ビブリオの新血清型の提案等に係る混乱を避けるため、「腸炎ビブリオの血清型に関する委員会(血清型別委員会)」を必要に応じて開催する。委員会の構成は別に定める。

(会の構成)

第4条

1. 本シンポジウムは、ビブリオに関する学術関係者、保健行政機関関係者ならびに本シンポジウムの趣旨に賛同する団体及び個人をもって構成する。
2. 本シンポジウムに会長一名を置く。会長は会員によって選出する。なお、任期は三年とし、再任を妨げない。
3. 本シンポジウムの運営上審議が必要な場合は、「血清型別委員会」メンバーに加え、会長、当該年度の世話人及び会長が指名する若干名による「運営委員会」を構成し、これを行う。

(会費)

第5条 本シンポジウム会員は、次の年会費を拠出するものとする。
個人会員：2,000円、団体会員：5,000円(一口)。

(会計年度)

第6条 本シンポジウムの事業および会計年度は、当シンポジウム第一日目に始まり、次年度シンポジウム前日に終わる。会計報告は、シンポジウム開催時に行う。

(経費)

第7条 本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。

腸炎ビブリオシンポジウムの歴史

腸炎ビブリオ談話会

第1回	昭和41年11月8日	東京都立衛生研究所	善養寺 浩
第2回	昭和42年12月5～6日	神奈川県衛生研究所	児玉 威
第3回	昭和43年11月28～29日	和歌山県衛生研究所	堀 道紀

腸炎ビブリオシンポジウムに改称

第4回	昭和44年10月31～11月1日	宮崎県衛生研究所	福田 武夫
第5回	昭和45年11月26～27日	静岡県衛生研究所	野口 政輝
第6回	昭和46年11月1～2日	宮城県衛生研究所	今野 二郎
第7回	昭和47年11月20～21日	神戸市衛生研究所	増住 正明

昭和48年第1回国際腸炎ビブリオシンポジウムと合同

第8回	昭和49年11月9～10日	大阪大学微生物病研究所	三輪谷 俊夫
第9回	昭和50年11月17～18日	千葉大学生物活性研究所	藤原 喜久夫
第10回	昭和51年10月2～3日	北海道大学医学部	飯田 広夫
第11回	昭和52年11月25～26日	大阪市立大学医学部	増井 正幹
第12回	昭和53年11月17～18日	岡山大学薬学部	篠田 純男
第13回	昭和54年11月15～16日	大阪府立公衆衛生研究所	古野 秀雄
第14回	昭和55年11月21日	東芝生物理化学研究所	岩瀬 勇雄
第15回	昭和56年12月10～11日	大阪大学微生物病研究所	鳥居 光雄
第16回	昭和57年11月24～25日	徳島大学医学部	川田 十三夫
第17回	昭和58年11月10～11日	東京都立衛生研究所	坂井 千三
第18回	昭和59年10月24～25日	静岡県衛生環境センター	浅川 豊
第19回	昭和60年12月5～6日	城西大学薬学部	久恒 和仁
第20回	昭和61年10月26～27日	東京大学医科学研究所	竹田 美文
第21回	昭和62年10月7～8日	熊本県衛生公害研究所	道家 直
第22回	昭和63年11月17～18日	岡山大学薬学部	篠田 純男
第23回	平成元年10月27～28日	東京都立衛生研究所	工藤 泰雄
第24回	平成2年11月16～17日	大阪大学微生物病研究所	三輪谷 俊夫
第25回	平成3年11月7～8日	大分県衛生環境研究センター	大友 信也
第26回	平成4年11月12～13日	広島市衛生研究所	荻野 武雄
第27回	平成5年11月18～19日	大阪府立公衆衛生研究所	小野 喜男
第28回	平成6年11月25～26日	昭和薬科大学	新井 武利
第29回	平成7年11月9～10日	神奈川県衛生研究所	衛藤 繁男
第30回	平成8年10月17～18日	大阪大学微生物病研究所	本田 武司
第31回	平成9年11月20～21日	岡山県立大学保健福祉学部	三輪谷 俊夫
第32回	平成10年11月27～28日	城西大学薬学部	久恒 和仁
第33回	平成11年11月25～26日	琉球大学熱帯生物圏研究センター	熊澤 教眞

第34回	平成12年10月13～14日	大阪大学微生物病研究所	本田 武司
第35回	平成13年10月25～26日	三重県科学技術振興センター	杉山 明
第36回	平成14年12月5～6日	京都大学東南アジア研究センター	西渕 光昭
第37回	平成15年11月6～7日	青森県環境保健センター	大友 良光
第38回	平成16年11月18～19日	岡山大学薬学部	山本 重雄
第39回	平成17年11月6～7日	デンカ生研株式会社	杉山 純一
第40回	平成18年11月30～12月1日	東京都健康安全研究センター	松下 秀
第41回	平成19年11月21～22日	神戸大学農学研究科	大澤 朗
第42回	平成20年10月23～24日	富山県衛生研究所	倉田 毅
第43回	平成21年11月26～27日	岡山大学薬学部	土屋 友房
第44回	平成22年11月25～26日	秋田県健康環境センター	八柳 潤
第45回	平成23年10月20～21日	国立感染症研究所	渡邊 治雄
第46回	平成24年11月15日～16日	大分県衛生環境研究センター	緒方 喜久代
第47回	平成25年11月14日～15日	広島大学生物圏科学研究科	島本 整
第48回	平成26年11月13日～14日	北海道大学大学院水産科学研究院	澤辺 智雄
第49回	平成27年10月15日～16日	国立医薬品食品衛生研究所	工藤 由起子
第50回	平成28年10月20日～21日	大阪大学微生物病研究所	飯田 哲也

第51回ビブリオシンポジウム実行委員会

世話人

大阪大学微生物病研究所 飯田哲也

北海道大学 大学院水産科学研究院 澤辺智雄

実行委員

児玉年央・松田重輝（阪大微研）

山崎浩司・美野さやか（北海道大学）・澤辺桃子（函館短期大学）

広告協賛・寄付

一般財団法人 阪大微生物病研究会

一般財団法人 食品分析開発センター サナテック

北海道和光純薬株式会社

一般財団法人 日本食品分析センター

株式会社ヤクルト本社中央研究所

MyMetagenome 株式会社

大日本印刷株式会社

コダカマイクロバイオロジーアンドサイエンス合同会社

以上